

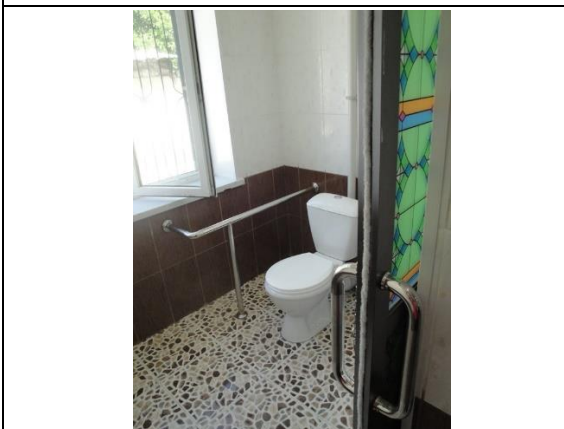
事業の内容および活動の成果に関する写真（対象期間：2014年1月29日～2014年10月28日）
 タジキスタン共和国「ドゥシャンベ市における障がい児のためのインクルーシブ教育推進事業」
 （特活）難民を助ける会



学校No. 72に設置した支援学級にて本事業で供与した学習教材を使用して学ぶ自閉症の子どもたち（2014年6月23日）



学校No. 72の追加工事で設置したスロープの竣工式の様子。鎌田崇志在タジキスタン日本国大使館大使（当時）、教育省のアミロフ氏、校長などが出席。右から2番目は駐在員の荒木梢（2014年10月27日）



学校No. 28に設置したバリアフリーのトイレ。段差がなく、手すりがあり、車いす利用者が十分に入れる広さに設計した（2014年5月26日）



学校No. 72で開催した障がい理解についての啓発イベントの様子。障がい児と健常児と一緒に楽しんだ（2014年5月24日）



インクルーシブ教育の研修後、障がいのある3人の生徒を教えている教員。前列左から弱視の生徒、心臓病を患う生徒、片足が義足の生徒（2014年12月11日）



ワークショップにて河野真専門家（前方右）が障がい児を受け持つ教員の抱える課題に対応するための助言をした（2014年8月29日）